

# 住江織物グループの技術や製品には、こんなへえ〜!な一面が

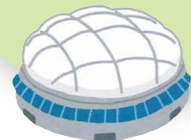
住江織物グループの技術や製品は130年以上の歴史を重ねてきた中で多岐にわたります。  
 お客様のご要望にお応えし、また環境負荷を考慮した製品づくりを行う中で、あまり知られていない様々な実績を積み重ねてまいりました。

## 環境への貢献

### インテリア

ECOS®バックリングを  
 ご採用いただくと、  
 杉の木の吸収量に換算して  
 年間約**41**万本分の  
 CO<sub>2</sub>を削減

杉の木41万本分  
 とは、面積にすると、  
 東京ドーム  
 約**75**個分



ECOS®(LXシリーズ)

#### 【解説】

##### 【ECOS®の年間CO<sub>2</sub>吸収量】

LXシリーズ ECOS®バックリングをご採用いただいた場合、PVCバックリングと比較して年間で杉の木約41万本のCO<sub>2</sub>を吸収します。41万本の杉林の面積を東京ドーム(4.7ヘクタール)で換算すると約75個分に相当します。  
 この計算はLXシリーズの生産で生じたGHG(温室効果ガス)排出量を杉の木のCO<sub>2</sub>吸収量で除した数字です。

### 住江テクノ(株)

スミトロン®  
 1kgあたり、  
 ペットボトル  
 約**19**本を  
 リサイクル



リサイクル繊維「スミトロン®」

#### 【解説】

##### 【スミトロン®1kgあたり、ペットボトル約19本をリサイクル】

わたしたちがスミトロン®をつくる時、使用済みペットボトルから再生したチップを50%とポリエステルピュアチップを50%使用します。  
 ペットボトル(500ml)1本当り再生チップは26g出来るため、スミトロン®1kgあたり、ペットボトル(500ml)約19本をリサイクルしていることとなります。  
 ペットボトルを繊維としてよみがえらせ、カーペットやカーテンの素材として用いることで、環境負荷の低減やごみの削減に貢献しています。

### インテリア

1年間に廃棄される  
 タイルカーペットの  
 約**12**%を  
 再生利用



廃棄された  
 タイルカーペット

新しいタイルカーペット  
 (ECOS® iD-4100)

#### 【解説】

##### 【1年間に廃棄されるタイルカーペットの12%を再生利用】

廃棄されたタイルカーペットは専門の業者によってリサイクルされ、新しいタイルカーペットを製造するときの材料の一部として再利用されます。これが「水平循環型リサイクルタイルカーペット」と言われる理由です。  
 それでは、国内で廃棄されたタイルカーペット(自社製品以外も含む)のうち、わたしたちはどのくらいの量を再生利用しているのでしょうか。  
 新しいタイルカーペットをつくる時に使用するリサイクルパウダー※の使用量と日本のタイルカーペットのリニューアル市場規模(廃棄されたタイルカーペットと同等と見て)で計算したところ、再生利用率は約12%となりました。

※リサイクルパウダー：使用済みタイルカーペットから合成樹脂素材を高効率で取り出した、再生ポリ塩化ビニル化合物。

### 機能資材

再生PET  
**90**%  
 以上を使用した  
 不織布の製造



原綿

ホットカーペット

#### 【解説】

##### 【再生PET90%以上を使用した不織布の製造】

蘇州住江織物有限公司(中国)ではホットカーペットの本体(ヒーター)およびその主要部材である不織布を製造しています。不織布の原料には再生PETを使用しており、その使用比率は90%以上です。環境に配慮した製品づくりを行っております。